

(別紙)

留意事項について

◆調査におけるがん治療方法については、それぞれ以下のような治療を想定しています。

※研究段階や自由診療の治療は除きます。

【手術療法】

- ・ 外科的治療（肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術）
- ・ 鏡視下治療（皮膚切開など等により口腔や鼻腔等の自然開口部以外から挿入された光学機器の視野下で行われる病巣切除術）
- ・ **内視鏡治療（自然開口部から挿入された光学機器を用いた病巣の切除等の観血的治療）**

【放射線療法】

- ・ X線やγ線等の電磁放射線、陽子線や重イオン線等の粒子放射線、医療用ラジオアイソトープ等を用いた内照射療法による腫瘍縮小あるいは消失を目的とした治療。
- ・ 腫瘍に対する照射が行われた場合は、緩和的な照射も含む。

【薬物療法】

- ・ **化学療法（殺細胞性抗がん薬等での抗がん剤治療）**
- ・ **分子標的療法（がん細胞の特定の分子を標的にして、その機能を抑える治療）**
- ・ **内分泌療法（特定のホルモン分泌の抑制により腫瘍の縮小又は消失をはかる治療）**
- ・ **免疫療法（免疫チェックポイント阻害薬等の免疫の力を利用してがんを攻撃する治療）**

- 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関するとりまとめに掲載されている集計データ「三大療法別の需要推計データ」の定義を参考
- 黄色着赤字の箇所は、県で変更

◆調査情報の利用に同意いただいた医療機関は、県ポータルサイトへ「がん治療を受けられる医療機関」として掲載する予定です。

調査票に記入する際は、医療機関の開設者又は管理者の方と協議の上、ご記入ください。

【参考：こうちがんサポネット>検診を受ける・医療機関をさがす】

<https://gansapo.pref.kochi.lg.jp/search/>

◆返信用封筒での郵送または電子メールでの送信によりご回答ください。

回答様式は、下記サイトへ掲載しております。

【こうちがんサポネット>医療機関向け>医療機関がん診療体制調査】